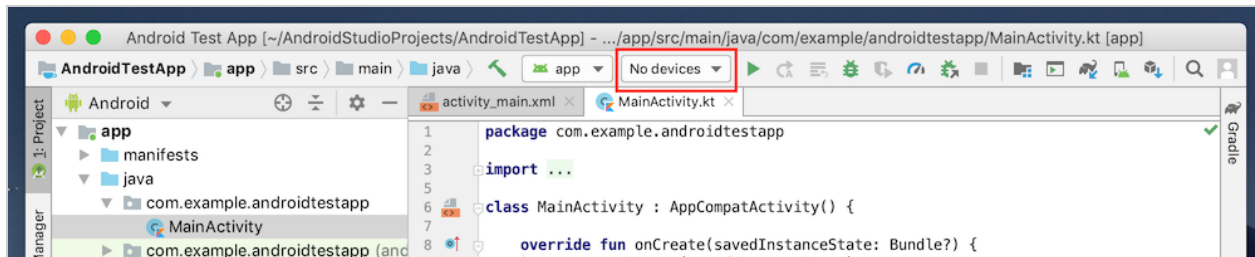


早速ですが、まずは作成したプロジェクトを実際に動かしてみましょう。PC上でエミュレータを使用、もしくはAndroid端末をPCに接続し端末側でデバッグを許可することで、簡単に作成中のアプリの動作を確認することができます。

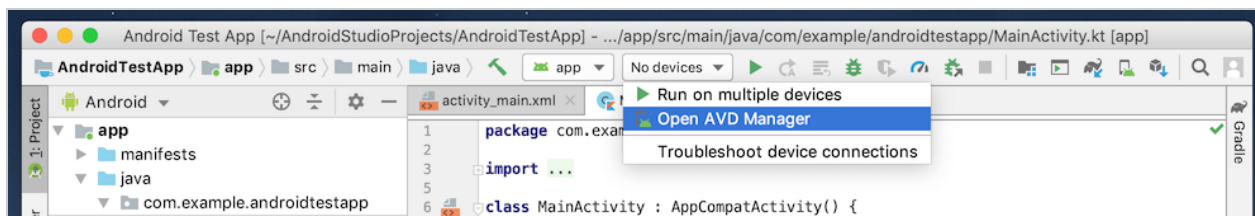
ここではエミュレータを使用してアプリをビルド・実行する方法をご紹介します。

まず、以下の赤枠に注目してください。

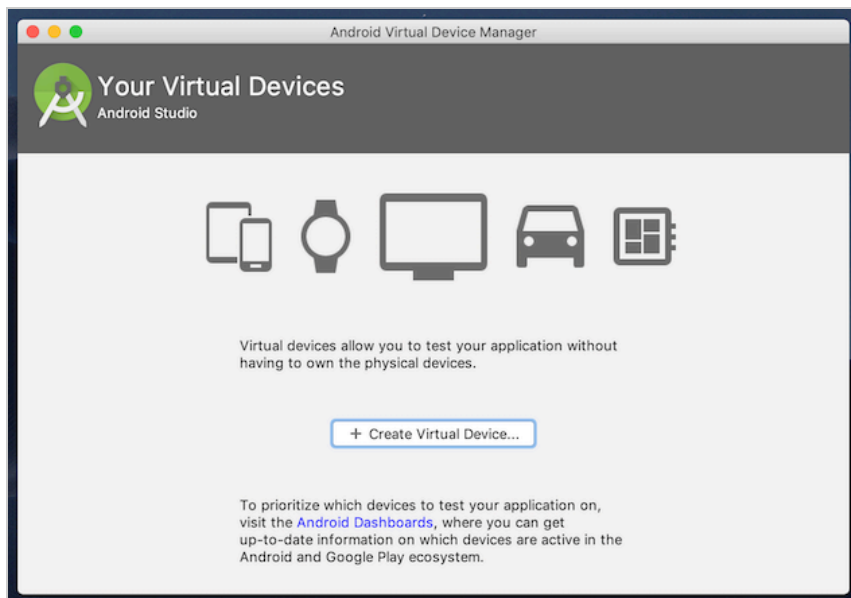


ここに「No devices」と表示されている場合は今起動できるエミュレータが存在しないことを示しており、エミュレータを作成して追加する必要があります。

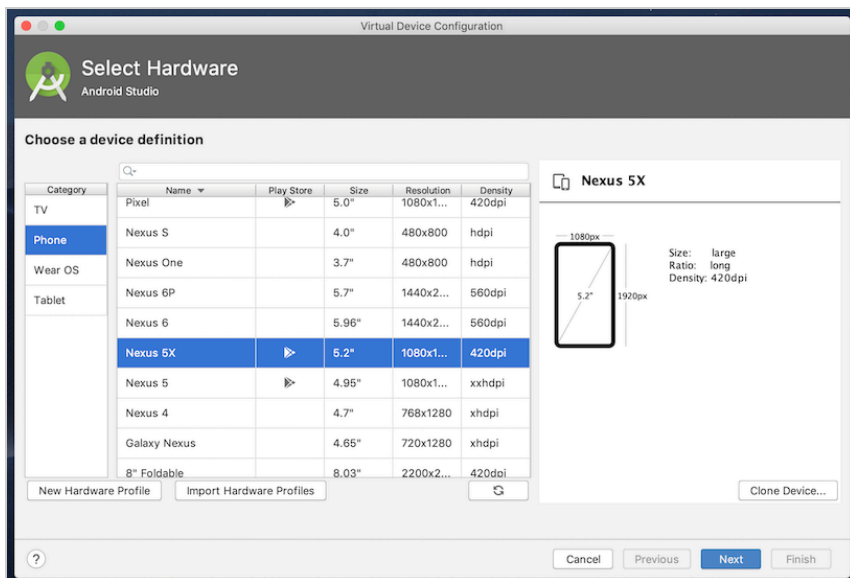
「No devices」をクリックし、プルダウン内の「Open AVD Manager」をクリックします。



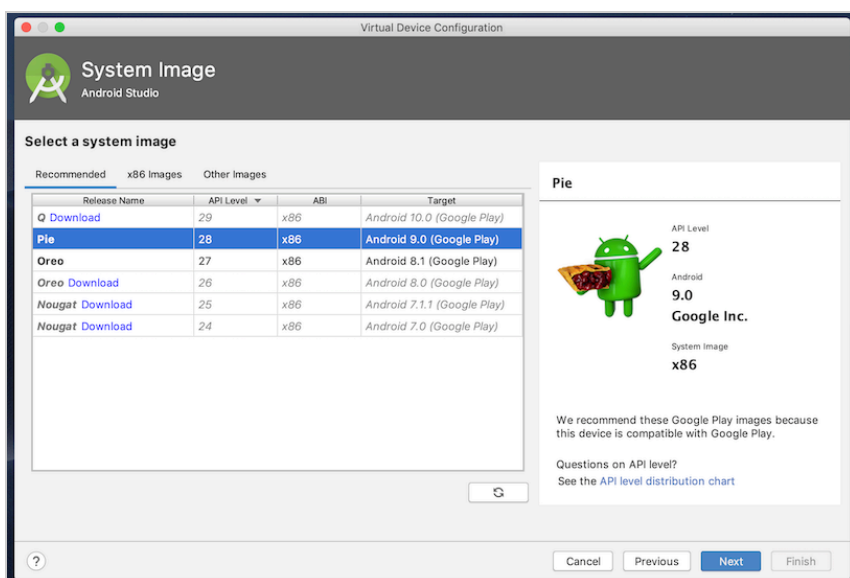
Android Virtual Device Managerが開かれるので、「+ Create Virtual Device...」をクリックしてエミュレータを作成しましょう。



次の画面では作成するエミュレータのデバイスの種類を指定します。
今回は「Phone」の「Nexus 5X」を選択して、Nextを押下します。



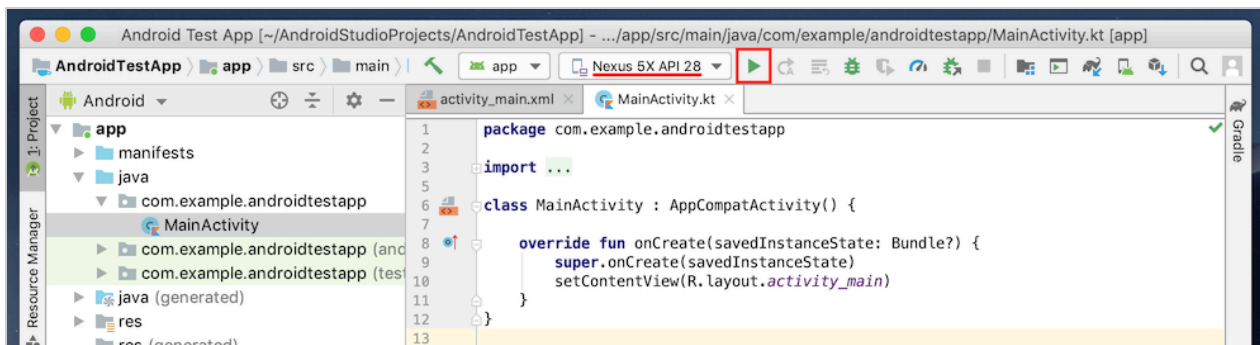
次に、エミュレータのバージョンを指定します。
今回は「Pie」を選択して、Nextを押下します。



ここでPieの横に「Download」と表示されている場合はそのエミュレータをダウンロードする必要があるため、Downloadを押下します。
ダウンロードが完了したらNextを押下します。

次の画面ではエミュレータの名前や向きを設定出来ますが、今回はデフォルトのままで大丈夫ですので、Finishを押下し、エミュレータを作成・追加します。Android Virtual Device Managerにエミュレータが追加されたことを確認しましょう。

確認できたら先ほどの「No devices」がエミュレータ名に変わっているはずなので、隣の▶(Run)ボタンを押下することでそのエミュレータが別ウィンドウで起動し、自動的にアプリが立ち上がります。



以下のように表示されたでしょうか？

